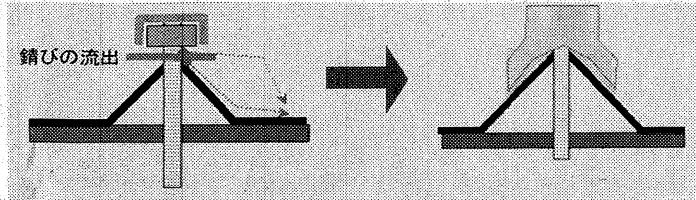


建設新聞

平成20年(2008年)4月10日(木曜日) (2)

折半屋根用防錆キャップ

メンテナンスコストを削減



従来屋根用キャップの場合

折半屋根用TSルーフの場合

ツルガが発売

株式会社ツルガ(東大阪市高井田本通三六一一五)が、折半屋根用の防錆キャップ「TSルーフ」を新発売した。折半屋根のジョイント部分に使用されるボルト穴部分の錆の発生を抑制し、塗装等で延命対策され

し、耐久年数の延長、メンテナンスコストの削減に貢献する「折半屋根用防錆キャップ TSルーフ」を新発売した。

話題

今回の「TSルーフ」

る場合が多く、特に波板タイプは、素材に軟質塩化ビニールを使用することにより、密着性が高く、振動による剥離の危険性を軽減。端部に広がりを持たせているので、どんな波板の形状にも追従し、キャップの厚さも1.5mmと薄く、省スペースで済む。また、硬質のため、波の形状に合わせて形取りして製作するため、納期コスト面で課題があった。通常のキャップではボルト部分をカバーしきれず、錆の流出を抑制する防水アイテムとして不完全なものが多かったのが現状となっている。

折半屋根のメンテナンスサイクルは環境状況により10年程度と短く、維持管理費用が高いのが難点とされていた。また、従来の屋根用キャップは、硬質のため、波の形状に合わせて形取りして製作するため、納期コスト面で課題があった。通常のキャップではボルト部分をカバーしきれず、錆の流出を抑制する防水アイテムとして不完全なものが多かったのが現状となっている。

折半屋根用TSルーフは、素材に軟質塩化ビニールを使用することにより、密着性が高く、振動による剥離の危険性を軽減。端部に広がりを持たせているので、どんな波板の形状にも追従し、キャップの厚さも1.5mmと薄く、省スペースで済む。また、硬質のため、波の形状に合わせて形取りして製作するため、納期コスト面で課題があった。通常のキャップではボルト部分をカバーしきれず、錆の流出を抑制する防水アイテムとして不完全なものが多かったのが現状となっている。

2008年4月10日、建設新聞にツルガの「TSルーフ」が掲載されました							